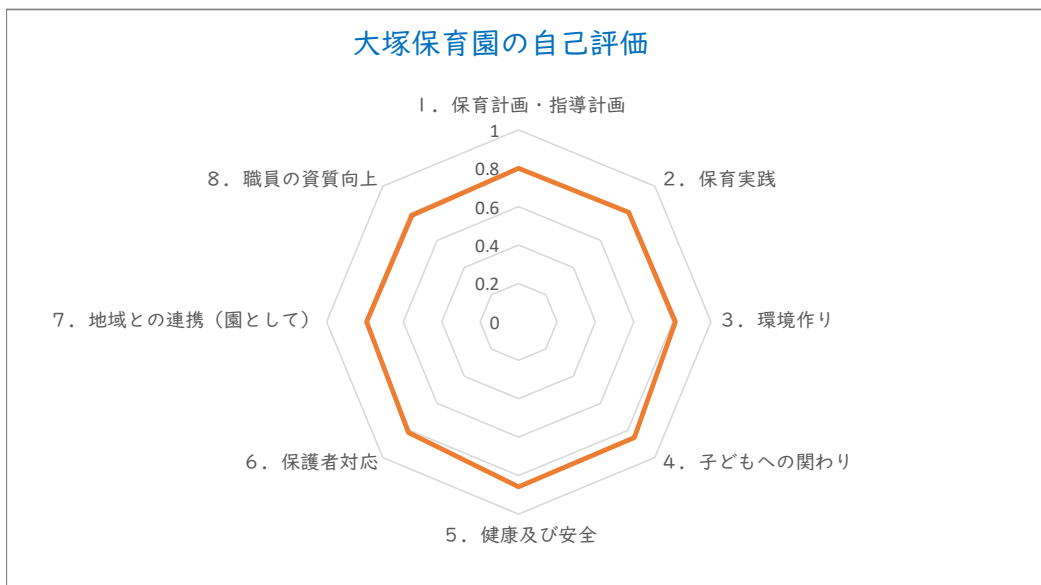


保育所保育指針では、保育の質の向上を図るため、「保育の計画の展開や保育士の自己評価を踏まえ、保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない。」ことが明記されています。当園では組織として自己評価に取り組みましたので公表します。



#### 【総評】

○稲沢市の保育理念「心身ともに たくましく よく遊ぶ子ども」のもと、本年度も職員一同一人一人のお子さまの育ちを丁寧に見守り保育してきました。また、稲沢市が目指す「子どもを尊重するガイドライン」を職員間で常に意識し、子どもの人権に配慮し、インクルーシブ保育の学びから、「みんなちがって みんないい」やさしい保育を目指してきました。子どもたちもお互いを認め合う心が自然に芽生えています。

○引き続き、地域交流の観点から大塚小学校との交流会や老人施設への慰問等、交流を通して地域との様々な繋がりを深めていく経験をしていきます。



サツマイモの苗植え  
(自然とのかかわり)

主体的な制作あそび  
(豊かな感性と表現)



リレーあそび  
(健康な心と体)

#### 【今後の課題】

○前年度から始まったインクルーシブ保育の学びや主体的な保育環境づくりは、様々な働き方の職員への周知がやや不足していたため今後の課題としています。新年度は職員研修等でさらに深め、全職員が同じ目標に向かって実践していきます。

○架け橋期プログラムを含め近隣小学校との連携がより充実できるように相互の交流を増やし、小学校就学に向けてスムーズな接続をしていきます。

○子ども会議を大切に、一人一人の個性を尊重した自己肯定感が高まる関わりを目指します。